

科目名称：	ネットワーク演習	
担当者名：	矢澤 建明	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>現在、いかなるビジネス分野においても、ネットワーク技術の発展・拡充はめざましいものがあり、なくてはならないものとなりつつあります。現在では、家庭内においてもインターネットへの接続・Wifi環境の整備などが必須になっています。</p> <p>一方、これらの技術は、一般的には何か遠いもののように思われていて、ほとんどの場合高額料金を払って外注運営しているのが現状です。ネットワークの技術はそこまで難しいものではなく、本授業を通して少しの知識だけでかなりのことができるということを体験してもらいたいと思います。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>本授業では、教室内の模擬ネットワークでLANの整備やWifi環境の整備ができるようになり、最終的には簡単なサーバ管理ができるようになることを目標とします。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)			30	70	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考
<p>授業プリントや次回までの課題は、LMS(Google Classroom)を利用して、提出をしてもらうことがある。また、特殊な事情により、対面授業ができない場合は、「オンライン上で映像を視聴してもらう」、「Webフォームでクイズに解答する」、「学生同士がテキストベースで質問・議論しあう」という、教室外での授業実施を行うことがある。</p>

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
ネットワーク技術に対する理解	現代のネットワーク技術に対して好奇心を持って理解し、他者に説明することができる。	現代のネットワーク技術に対して興味を持って理解している。	現代のネットワーク技術について、とりあえず理解している。	現代のネットワーク技術に対して無関心である。
ネットワーク機器の取り扱い	ネットワーク機器をまったく問題なく扱いき、かつ他者に説明することができる。	ネットワーク機器を使いこなすことができる。	ネットワーク機器について、なんとか使いこなすことができるものの、他者に説明することができない。	ネットワーク機器を扱うことができない。
サーバ管理	サーバをまったく問題なく管理することができ、かつ他者に説明することができる。	サーバを管理することができる。	サーバをなんとか管理することができるが、他者に説明することができない。	サーバ管理をすることができない。
ネットワーク技術を利用しようとする力	授業で得た知識を使い、ネットワーク技術を利用するだけでなく、他者に説明することができる。	授業内容で得た力を使い、ネットワーク技術を利用できる。	よく理解しないまま、ネットワーク技術を利用している。	ネットワーク技術に対して、的確な利用ができない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ネットワークとは	本シラバスを精読しておき、本演習の概観を頭に入れておくこと。	20分
第2回 LANケーブルの作成	LANケーブルのしくみについての課題。	20分
第3回 ハブを使った配線	ハブの仕組みについての課題。	40分
第4回 インターネットの仕組み (IPアドレス)	IPアドレスについての課題。	40分
第5回 ルータ設定	ルーティングの技術に関する課題。	40分
第6回 Wifiについて	Wifiについての課題。	40分
第7回 無線LANルータの設定	無線LANルータについての課題。	40分
第8回 サーバの管理について (Linux)	Linuxコマンドについての課題1。	40分
第9回 UNIXコマンドとファイルディレクトリ	Linuxコマンドについての課題2。	40分
第10回 ファイルディレクトリ演習	ファイルディレクトリについての課題。	40分
第11回 vi演習	viについての課題。	40分
第12回 Webサーバ	Webサーバのしくみについての課題。	40分
第13回 Webサーバ演習	Webサーバ設定の課題。	40分
第14回 CGI演習	CGI設定に関する課題。	40分
第15回 まとめ	最終課題。	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。

授業内では、ネットワークの構築やサーバの管理といった作業をグループで行います。これらの活動状況を40%、演習課題・実技演習を30%、事前事後学習課題30%を考慮して判断します。

課題に対するフィードバック

授業内演習課題については、コメントでフィードバックする。提出課題は、チェックポイントを記入の上、返却する。

教科書・参考書

教科書は指定しません。ネットワーク・サーバ・Wifi・Webサーバなどに関する本はすべて参考となります。